

## 「完治の手記（尋常性乾癬）」匿名希望 40 歳

2005 年 8 月 11 日

平成 15 年 9 月に、皮膚にかゆみが発生し、単なる疲れのせいと思い、そのまま放置していました。その後、激しいかゆみが襲い、たびたびかきむしるようになりまし  
た。そうすると、皮膚が破れ、出血し、さらにかゆみがひどくなって、たまた、当  
時すんでいた四條畷市の近所の皮膚科に、診察に行きました。

普通の塗り薬を渡され、様子を見る事になりましたが、薬を塗ると良くなり、塗ら  
ないと悪化する、の繰り返しが続きました。これが、さらなる病状の進行とは知らず  
に、当時の私は、引越しや、初めての子供の出産と、仕事の忙しさで、病状がひどく  
なるにも関わらず、そのまま放置していました。下半身の皮膚で、とくに粘膜の部分  
は、ひどさを増していくのに、不安がつゆる毎日を送っていました。

平成 16 年 11 月に、高槻市に引越して来てからも、いろいろな皮膚科の病院を廻り  
ましたが、結局、薬を塗ると良くなる、塗らないと悪くなる、の繰り返しでした。新  
しい家と、新しい家族に恵まれたにも関わらず、常に、気持ちは塞ぎがちな毎日でし  
た。

平成 17 年 3 月に、突然、妻から、「大学時代の親友が、ひどい喘息を、漢方で治療  
する先生の所で、大変良くなった。」と聞かされました。関心を持って、ネットのホ  
ームページを閲覧してみると、尋常性乾癬の治療もしているという記述が載っていた  
ので、いそいで通院する事にしました。私が最後に言い渡された病名が、先に書いた  
病名だったからです。

実際通院して、いきなり松本先生に言われたのは、「そんなん、アレルギーや！俺  
が治したる！」でした。少し乱暴な言い方でしたが、なんなく信用できそうなのと、  
治らないので、ワラにもすぎる思いで、松本医院の薬（漢方）で治療しました。

すると、信じられない事に、初めの 1 週間で、今までの治療とは全く違う手ごたえ  
を感じたのです。私の場合、忙しさにかこつけて、ステロイド等の治療をいい加減に  
していたのが、リバウンドが無く、より早く快方に向かった原因ではなかったのでは  
ないかと思えます。

今、治療されている皆様も、アレルギー症状は、人間の免疫力を増進させる事によ  
り、完治すると信じて、治療を続けていただきたいと思います。平成 17 年 8 月通院

から、半年で通院をやめる事になりました。もちろん薬も飲む必要がないほどに治ったからです。

最後に、私の病状を快方へと導いてくださった松本先生と、松本医院の皆様に、感謝を述べさせていただいて、手記をまとめたいとおもいます。